

3 次世代エネルギー産業の創出・育成<新産業・エネルギー振興課>

(1) 次世代自動車関連産業の育成支援

EV・PHVの普及促進や関連産業の育成に向けた取組みを行うため、平成23年度に産官学連携により「岐阜県次世代自動車推進協議会」を設立した。

平成28年度には、(公財)岐阜県産業経済振興センターが開催した次世代自動車関連セミナー、先進企業工場見学会、自動車メーカーとの商談会等への参加を促したほか、県次世代エネルギー産業創出コンソーシアムのワーキンググループによる中部運輸局管内で初めてとなる「超小型モビリティによる周遊観光実証事業」を核としたビジネスモデルの創出を支援した。

(2) 次世代住宅関連産業の育成支援

民生部門における次世代エネルギーの使用・定着を通じた住宅等への省エネ対策推進と、住宅関連事業者の技術力向上を目的に、平成25年3月に「岐阜県次世代住宅普及促進協議会」を設立した。

平成28年度には、幹事会・総会を各1回開催し、県の取組状況や業界動向などを共有した。また、新築住宅・建築物への改正省エネルギー基準適合義務化(平成32年度予定)や「ゼロエネルギーハウス」(省エネルギー性能、発電設備等を備え、実質のエネルギー消費量をゼロにする住宅)の普及に向け、対応が遅れている県内工務店等の知識・技術力向上を目的に、次世代住宅に関する建築実務者向けの教育教材を作成した。

(3) 次世代エネルギー産業の創出

太陽光発電や小水力発電などの再生可能エネルギー、住宅の断熱化などの省エネ対策、蓄電池による蓄エネ技術など、次世代エネルギーへの関心が高まっている。このような状況の中、県内企業が次世代エネルギー産業に参画できるよう、産学官連携により次世代エネルギー技術の開発、製品化を促進させることを目的に、平成26年9月に「岐阜県次世代エネルギー産業創出コンソーシアム」を設立した。

平成28年度には、講習会等開催事業(先進事例見学会1回、シンポジウム・セミナー2回、エネルギーカフェ(ワークショップ)1回)、エネルギー関係展示会出展支援事業(スマートコミュニティJapan2016、メッセナゴヤ2016)、ワーキンググループ活動支援事業(10グループに補助金交付)を実施した。

第4節 一人ひとりが実践できる取組みの浸透

1 「クールビズ・ウォームビズ」「クールシェアスポット・ウォームシェアスポット」の普及促進<環境管理課>

(1) ぎふ清流クールビズの取組みの推進

夏のエコスタイルキャンペーンとして、クールビズ等と呼びかけ省エネルギー型ライフスタイルを推進した。本県職員においては、上着非着用、ノーネクタイの軽装に加え、ポロシャツ、チノパン、スニーカー等も着用可とする「ぎふ清流クールビズ」に取組んだ。

(2) ウォームビズの推進

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス排出量の削減のため、過度な暖房使用を控えながらも快適に過ごす「ウォームビズ」の実践を呼び掛け、室温20℃を目処に適切な暖房機器の使用を推奨した。

(3) クールシェアスポット・ウォームシェアスポットの普及促進

家庭から排出される温室効果ガスの削減対策の一環として、県民の方が夏の昼間の時間帯に涼しく快適に過ごしていただける施設や場所(クールシェアスポット)を募集・登録し、その利用を促すことで節電・省エネを図る取組み「ぎふ清流クールシェアキャンペーン」を、県民の方が寒い冬に温かく快適に過ごしていただける施設や場所(ウォームシェアスポット)を募集・登録し、その利用を促すことで節電・省エネを図る取組み「ぎふ清流ウォームシェアキャンペーン」を実施した。

2 「見える化」による家庭での取組みの推進<環境管理課>

(1) うちエコ診断の推進

家庭から排出される二酸化炭素の削減対策として「うちエコ診断」の受診を推進している。「うちエコ診断」とは、環境省の制度で、資格を持ったうちエコ診断士が受診家庭とのコミュニケーションを通じて、家庭の二酸化炭素排出削減対策を提案するもので、平成28年度は340件の受診を行った。